



聖心女子大学

University of the Sacred Heart, Tokyo

2020年度

一般入試 解答と講評

目次

【3教科A方式】

国語	p. 1
英語	p. 3
フランス語 (解答)	p. 4
日本史	p. 6
世界史	p. 8

【3教科B方式】

国語	p. 10
英語	p. 12
日本史	p. 13
世界史	p. 15

【総合小論文方式】	p. 17
-----------	-------

一
【解答】

問一(1) 歓心 (2) 偏狭 (3) 変哲 (4) 鍛 (5) 逸話

問二(6) おおぎょう (7) しゅっぱん (8) あらが (9) のほうず (10) みぞう

【講評】

出題された漢字は日常的に使用されるものです。全体的に問一の方がよくできていました。問題に「楷書で大きく書くこと」と指示があります。丁寧に書かなかつたり小さく書いたりして、字形がはっきりしない場合は誤りと判定します。漢字の正しい字形と画数を理解していることがわかるように書いてください。

二

【解答】

問一 ③ 問二 ⑤ 問三 ②

問四 (1) お兄さんが自分で編み出した言語 (2) 誰にでも通じるごく当たり前の言葉

問五 まるで彼ら 問六 ① 問七 下の講評を参照 問八 ④ 問九 ④

【講評】

問一は傍線部の直前、問三は傍線部の前後、問二・問八は本文全体に即した選択肢を選びます。問一は非常によくできていましたが、問二はあまりできていませんでした。問六、子供時代の「小父さん」は「お兄さん」の言葉を「ちゃんと分かる」が、自分も話せるとは書かれていません。問九は基本的な文学史です。問七は子供時代の「小父さん」の視点から、「お兄さん」がどのような優れた言語能力を持っていたかをまとめる問題です。「そうか(中略)お兄さんも小鳥と同じように皆が忘れた言葉を喋っているのか」を中心にまとめます。なお、鳥の名をすらすら言えるのは言語能力ではなく知識、語彙・文法などの進化は大人である語り手が述べたもので、どちらも設問とかみ合いません。問七のできはよくなく、問四・問五は高い正答率でしたが、誤字で減点という例が目立ちました。抜き出し問題では本文どおり正確に書くよう心がけましょう。

三

【解答】

問一 A ① B ② 問二 I ⑧ II ⑦ III ③ IV ① V ⑥

問三 C ① D ⑤ E ④ F ② 問四 ⑤

問五 G ⑤ H ④ 問六 下の講評を参照 問七 ①③ 問八 ③

【講評】

問一は基本単語、問二は基本的な文法を確認する問題です。問三は主語を考える問題で、敬語や前後の文脈から判断できますが、Dは正答率が非常に低かったです。問四・五・六・七は内容読解の問題です。問四の和歌のやりとりでは「なくはこそ……待ちみめ」「なかなか……心おく」に着目します。問五は正答率がやや低かったです。姫君をかわいがりながら実子と引き離された明石の君を思いやる紫の上、

それを見守る女房達の気持ちをくみ取りましょう。問六は、自分以外の女君（明石の君）のもとへおめかしして出かける光源氏を見送る紫の上の思いを考えます。本文中に「をちかた人のめざましさ」とあるところからも、紫の上が明石の君に対し、嫉妬の思いを抱いていることがわかります。不安よりも激しい感情を読み取ってください。問七は登場人物の心情や役割から判断する問題で、よくできていました。問八は基本的な文学史の問題です。

四

【解答】

問一 A④ B⑤ C① 問二 ② 問三 a④ b③ 問四 下の講評を参照

問五 ⑤ 問六 ②・④ 問七 ①・③

【講評】

問一は前後の文脈を読み取った上で選びます。問二は、「血の爪」といった血生臭い凄惨なイメージがヒントで、非常によくできていました。問三は、単語の意味を正確に把握していることがポイントとなります。問四は飢えた仲間への血の分配行動は「直近には自分の適応度を下げる」が、「長期的に見ると、自分が飢えたときの保険のように働く」という点を押さえることが大切です。「直近には～」と「長期的に見ると～」が対比されていることがわかれば、答えられます。「どういうことですか」という問いに対しては、「～こと」と答えましょう。問五は、大型魚と清掃魚の話が、チスイコウモリの血の分配行動の類例であることを理解できているかを問う問題です。問六はこの文章のキーワード、問七は全体の論旨が理解できているかどうかを問う問題です。どちらもよくできていました。

2020年度 3教科A方式 英語

A方式は従来と同じく大問3題が出題されました。前年に続き、2題は論説文で、1題は会話文です。文章の長さや設問の数・種類・難易度は例年とほぼ同じです。ある程度の長さの文章を読み、筆者の主張を理解し、それを自分のことばで説明できる力が要求されます。受験生の皆さんは、日ごろから読解力、作文力、語彙力、文法力などをバランスよく身につけておきましょう。

I.

【解答】

問1. (1) ③ (2) ② (3) ④ (4) ② (5) ③

問2. [A] ④ [B] ③ [C] ②

問3. (A) ① (B) ① (C) ② (D) ②

問4. 事実は客観的なものだが、価値は主体的に見出されるものである。(30文字)

問5. (A) resolution (B) commit

【講評】

人生の新しいステップを複数の選択肢から選ぶ場合、自分がその道にどれだけ打ち込めるかを問うべきだと説いた文章です。問1から問3までは、空所補充や語句の意味を問うもので、単に語句の意味や英語の言い回しを知っているだけでなく、文章の論理的な内容に即して適切な表現を選ぶことのできる英語力が求められます。問4と問5は記述式で、問4はこの文章の主張するポイントの論理的根拠をたとえを使って説明している部分が理解できるかがカギでしたが、抽象度の高い論理だったためか、正答率は低かったです。問5の(B)は比較的よくできていました。

II.

【解答】

問1. ア ③ イ ③ ウ ① エ ② オ ③

問2. (a) ② (b) ③ (c) ① (d) ④ (e) ②

問3. [23] ⑧ [24] ③ [25] ⑤ [26] ⑥ [27] ④ [28] ⑨ [29] ① [30] ②

問4. ②

【講評】

例年通り、大問の一つとしてこのような会話文を出題しています。今回はインターンシップについてです。話のつながり、語句の意味、全体のテーマと要旨と様々な角度からの出題でしたが、全体によくできていました。

III.

【解答】

問1. (A) integration (B) truth (C) strong (D) explanation (E) honesty
(F) endure

問2. 1. ① 2. ① 3. ① 4. ④

問3. ①

問4. 自分が無知であるという認識のおかげで、私は開かれた心と好奇心を持ち続けることができ、物事について断定したり一般化したりするのを避けることができる。

問5. 下記の講評参照

【講評】

キリマンジャロ登頂を志す旅行家が今回の計画の目的について、また自分にとって一般に旅というものが持つ意味について思いを巡らしている随想文です。問1は毎年出題される派生語の問題ですが、意外とできていなかったようです。品詞が変わることにつづりが変わるものをリストアップして、きちんと覚えるとよいでしょう。問2は本文の内容と一致する文を完成させる頻出の問題で、比較的よくできていましたが、(問2の)3は本文を丁寧に読まないと間違ってしまうでしょう。問4の和訳は比較的よくできていましたが、ignorance, curious, generalization等の基本単語の意味が分からない人が少なからずいたのは残念でした。問5は毎年出題されている自由英作文で、例年通り分量は書けているようでしたが、自分の経験について、「何を」達成したかだけでなく、「どのように」苦労や努力をとおしてそれを達成したのかまで書かないと答えとして不完全です。

【解答例】

I.

1. Il est professeur de mathématiques.
2. La mort de sa sœur et de sa mère sont les deux événements malheureux qui ont influencé Marie durant son enfance.
3. Parce que, à cette époque, la Pologne interdit aux femmes l'accès à l'enseignement universitaire.
4. Pour financer son séjour en France, elle travaille comme gouvernante en province.
5. Elle commence à travailler en 1894 au sein du laboratoire de recherches de Gabriel Lippman.
6. Cela signifie « tomber soudainement amoureux ».
7. Elle enseigne le polonais à ses deux filles et elle nomme un nouvel élément chimique qu'elle a découvert en l'honneur de son pays d'origine : le polonium.
8. Ils ont reçu le prix Nobel de physique en 1903 pour leurs travaux sur le radium.
9. Il est renversé accidentellement par une voiture à cheval.
10. Elle a reçu deux prix Nobel dans deux domaines différents.
11. Les premières ambulances radiologiques de Marie sont surnommées les « petites Curies ».
12. Marie a des problèmes de santé en raison de ses recherches avec des produits radioactifs.
13. Marie est décédée le 4 juillet 1934. (Marie est décédée le 5 juillet 1934. も正答とする)

II.

路面電車（トラム）の復活

路面電車は、19 世紀前半、アメリカ合衆国に出現し、1853 年にパリにも導入される。20 世紀初頭には、都市交通の第一の手段となる。しかし、バスが運行されるようになると、早くも 1950 年には、路面電車の姿が景観から消えていく。ところが 1973 年の石油危機（オイルショック）と路上を走る自動車数の増加が状況を変える。1980 年代になって、路面電車がフランスで華々しく復活するのだ。まずはナント、ついでグルノーブルにおいて。都市は路面電車を熱狂的に歓迎した。主な理由はふたつ。第一に、路面電車はバスより速い。第二に、地下鉄ほど施工費が掛からない。さらに、エコロジータ的な交通手段でもある。約 250 人の乗客をそれぞれの目的地に運べるが、これはバス 3 台に匹敵する輸送力である。最後に、路面電車はもっとも静かな都市交通である。これらすべての理由ゆえに、今日、路面電車は高い人気を誇っている。

III.

- ① combien
- ② marché
- ③ monde

- ④ pis
- ⑤ intéresse
- ⑥ désolé
- ⑦ dommage
- ⑧ prochaine

IV.

- ① du
- ② par
- ③ aux
- ④ au
- ⑤ trop
- ⑥ par
- ⑦ le
- ⑧ Ce
- ⑨ s'
- ⑩ en
- ⑪ aux
- ⑫ mien
- ⑬ chez
- ⑭ depuis
- ⑮ y

V.

1. Je communique plus par textos parce que je peux envoyer des messages à mes amis quand je suis dans le train.
2. Habituellement, je passe mes vacances à Okinawa parce que j'aime le soleil et la plage.
3. Je préfère le cinéma japonais parce que je n'aime pas regarder des films avec des sous-titres.

VI.

1. Grâce à mes parents, j'ai pu étudier en France.
2. S'il pleut demain, nous irons au cinéma.
3. Ma fille parlait au téléphone quand je suis rentré.
4. J'ai décidé d'aller au musée en train parce que cela prend deux heures à vélo.
5. Êtes-vous déjà allé au Canada?

2020 年度 3 教科 A 方式 日本史

(I)

【解答例】

問1 ア：卑弥呼 イ：正倉院 ウ：光明 エ：日本霊異記 オ：一条

問2 a：② b：② c：③ d：④ e：② f：① g：③ h：④ i：①

問3 (1)：荒神谷遺跡 (2)：計帳 (3)：恭仁京 (4)：四天王寺 (5)：出挙
(6)：建礼門院

【講評】

古代の女性に関する文章を読んで答える問題です。記述式の問1と問3では、問1イは有名だと思ったのですが意外と正答率が低く、逆に問3(1)の遺跡名は予想以上によくできていました。問2のマーク式のなかでは、a・h・iの正答率が50%を下回っていました。a・hなどについては、出来事を時間順に整理しておく必要があります。

(II)

【解答例】

問1 (A) 流鏝馬 (B) 倭寇 (C) 足軽 (D) 法然 (E) 修験道

(F) 琵琶法師 (G) 廻船

問2 (a) ④ (b) ④ (c) ① (d) ③ (e) ② (f) ③ (g) ③ (h) ① (i) ②

(j) ② (k) ④

【講評】

問1では(A)(G)の正答率が低かったです。(A)については漢字の誤りが、(G)については「問(問丸)」との誤答が目立ちました。問2では(b)(f)(g)(i)(j)の正答率が低かったです。特に低かった(j)については①を選ぶ誤答が多かったですが、足利義教は嘉吉の乱で死去しており、嘉吉は義教最晩年の年号ですので、「足利義教が将軍となったことを契機とする」という条件と合致しません。

(III)

【解答例】

問1 ア 大坂の役(大阪の陣、大坂夏の陣) イ 徳川秀忠 ウ 徳川家光

エ 参勤交代 オ 徳川綱吉

問2 一国一城令

問3 ③

問4 鎖国政策がとられ、日本人の海外渡航が禁止されるようになったため。

問5 幕藩体制

問6 ④

問7 ②

問8 ②

問9 ①

問10 ④

問11 ③

【講評】

Ⅲは江戸時代の政治を中心とした問題です。問4は、3代将軍徳川家光の下で、寛永期に一連の鎖国政策が展開し、その後続く外交体制が確立していったことを問うものでした。当該期の一連の鎖国政策のなかでも「大船の建造禁止」に直接関わるものとして、1635（寛永12）年に日本人の海外渡航が全面禁止された点に言及できれば、より完全な解答になりました。また、問5の「幕藩体制」は、近代以降の中央集権的な政治体制とは大きく異なる、江戸時代の分権的な政治体制の特徴を表現するキーワードですので、改めて教科書の説明を読んで理解しておく必要があるでしょう。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ア 関税 イ 地券（壬申地券） ウ 山県有朋 エ 地方改良
オ 近衛文麿 カ 1973

問2 (a) ③ (b) ② (c) ④ (d) ① (e) ③ (f) ② (g) ③
(h) ② (i) ④

【講評】

近現代日本の税制に関する問題です。問1については、ア、イは正答率が高かったですが、その他も含めて漢字が正確に書けていないものも見られました。手書きの場合、日常から丁寧、正確に書くことを心がけましょう。問2については、(d)と(e)がやや難しく感じたようです。日本経済の各時期における特徴をつかむようにしておきましょう。二・二六事件は「反乱」として鎮圧され、事件に関与したとされた皇道派は、事件後に責任を追及され力を弱めます。歴史上の事象については原因・経過・結果・影響をまとめて理解しておきましょう。

2020 年度 3 教科 A 方式 世界史

(I)

【解答例】

問1 ③

問2 (1) ① (2) ④

(3) 皇帝の生前に、優れた人物を後継者として指名し自らの養子とした。

問3 (1) (a) (あ) アウグスティヌス (い) 神の国 (b) ミトラス教、マニ教など

(2) (a) ① (b) ③

問4 ウマイヤ朝 問5 ② 問6 (1) ④ (2) ③

問7 (1) ① (2) ③

【講評】

古代から中世にかけてのイベリア半島に関する文章からの出題です。多くの問は70パーセント前後の正答率で、まずは好成績と言えるでしょう。問1(3)も予想以上に出来ていましたし、問7の2問はそれぞれ9割、8割が正解でした。反面、正解者が少なかったのは問3の東ローマ(ビザンツ)帝国を問う問題です。現在は存在しなくとも歴史上重要な役割を演じた国家には注意を払っておきましょう。

(II)

【解答例】

問1 藩鎮 問2 黄巢の乱 問3 朱全忠 問4 趙匡胤 問5 王安石

問6 ① 問7 ① 問8 ② 問9 ① 問10 ①、③(順不同)

問11 ④ 問12 ③ 問13 ② 問14 ④

【講評】

(II)は8～12世紀の中国の歴史に関する問題です。全体的によくできており、どの問題も正答率が50%を超えていました。問1から問5の記述式の解答では、漢字の間違いが散見されました。日ごろから漢字を正確に覚えるようにしましょう。問7、問9、問11、問13は8割以上の方が正解でした。問10は王安石による改革(新法)の中でおこなわれた政策に関する問題でしたが、⑥という誤答が2割程度ありました。用語だけを覚えるのではなく、改革の内容についてもしっかりと理解するよう心がけてください。

(III)

【解答例】

問1 ④ 問2 ⑥ 問3 ③ 問4 ③ 問5 ④ 問6 ③

問7 20世紀初頭、サレカット=イスラーム(イスラーム同盟)が結成され、民族運動を開始、それはインドネシア共産党に引き継がれたが、具体的成果をあげなかった。インド

ネシア国民党を結成したスカルノが、第二次世界大戦直後に独立を達成した。

問8 ② 問9 ① 問10 ④

問11 1857年、宗教的不満をきっかけに反乱を起こした東インド会社傭兵軍シパーヒーはデリー城を占拠し、ムガル帝国の再興を訴えて全インドに反イギリスの運動を拡大させた。翌年、イギリスは帝国を滅亡させるとともに東インド会社を廃止して直接統治を行い、1877年にはヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国を創設した。

問12 ④

【講評】

イギリス、オランダ、フランスの東インド会社の歴史を比較する設問です。選択問題で正解の少なかったのは問10です。イギリス東インド会社によるディワーニー（徴税権）の獲得はすべての教科書に記載されている重要事項です。問4では「レヴァント」と「レパント」を混同している解答が見られました。選択問題では、全体として正誤問題の正解率が低かったようです。問7では、「インドネシア」と「インドシナ」を混同している解答が数多く見受けられました。問11はインド大反乱についての基本的知識を確認する設問ですが、歴史を理解している解答とそうでない解答の差がはっきり現れました。

(IV)

【解答例】

A 問1 ② 問2 ④ 問3 ③ 問4 ④ 問5 ② 問6 ショパン

B 問7 ③ 問8 ② 問9 ① 問10 ① 問11 ③ 問12 ドラクロワ

【講評】

Aは「ピアノの詩人」と呼ばれたポーランド出身の作曲家に関する問題でしたが、この人物をベートーヴェンやモーツァルトだと考えた人が多く、その結果問1と問3の正答率が低くなってしまい、それぞれ32%と46%でした。しかし他の問題はよくできており、とくにポーランド分割に関する問5は9割近い正答率でした。フランスの画家に関する問題Bも全体的に正答率が高く、問7、8、9については7~8割程度でしたが、「芸術的潮流」を問う問11のみ54%にとどまりました。

【解答】

問一(1) 無謀 (2) 匿名 (3) 疎通 (4) 発祥 (5) 生硬

問二(6) ざんじ (7) た (8) あさ (9) かいわい (10) こうでい

【講評】

出題された漢字は日常的に使用されるものです。全体的に問二の方がよくできていました。問題に「楷書で大きく書くこと」と指示があります。丁寧に書かなかったり小さく書いたりして、字形がはっきりしない場合は誤りと判定します。漢字の正しい字形と画数を理解していることがわかるように書いてください。

二

【解答】

問一 ① 問二 ④ 問三 私は彼女の 問四 ⑤ 問五 ③ 問六 ア ① イ①

問七 ③ 問八 ② 問九 ④

【講評】

自分と同じように経済的理由で転校してきた女子生徒が自分より優秀だ、という事実直面した主人公の心の揺れ動きを読むこと、を求めた問題です。問一の「復讐」は、成績で勝つことで気持ちが楽になる、ということ。問二は、「私だけが感じた」に注意。問三は「自分の半面」を見ているからこそ、好悪の入り交じった気持ちになります。問四では、まだ、作文そのものへの興味は出てきていないことがポイント。問五は、作文の良さと同時に、誰が書いたか、を強調しています。正答率は低かったです。問七は、自信があっただけに心がへこみます。問八「仲良しになれる」「追い抜きたい」という気持ちの葛藤に目を向けることがポイントです。よくできていました。難しい文章ではありません。丁寧に、言葉に従って読むこと、を常に心がけていれば問題ないはずです。

三

【解答】

問一 A③ B⑤ C① 問二 a② b④ c⑦ d⑧ 問三 (1)② (2)③ (3)④

問四 D④ E③ 問五 管絃(管弦) 問六 ②・⑤(順不同)

問七 たどたどしくは 問八 ② 問九 ④

【講評】

問一・問二は基本的な古文単語と文法の問題です。問三は敬意の方向を問うもので、敬語の種類と文脈を正しく押さえることが必要です。問四は、文意を正確に掴むことができているかを確認しました。問五は古典常識の問題です。類義語や、「詩歌」にも点を与えました。問六では、和歌の意味・修辞法、前後の文脈の理解を求めています。比較的よくできていました。問七は「いかならむ」の語に着目し、内大臣

の意向が分からず不安な夕霧の心中を押さえましょう。上記の解答のほか、同じく夕霧の覚束ない気持ちを示す箇所にも中間点を与えました。問八は本文全体の内容理解を問うものです。正答率は低かったです。問九は基本的な文学史の問題です。

四

【解答】

問一 A② B③ C④ D⑥ 問二 a④ b① c③ 問三 統計的実体 問四 ④ 問五 ③

問六 この抽出法 問七 ① 問八 ⑤

【講評】

問一の接続詞の問題と問二の用語の説明問題は正答率が低めでした。文章の流れを正確に把握しないと接続詞は選べません。また、用語の説明は、その語だけを見るのではなく、話の流れに合う選択肢を選ぶように心がけましょう。問三はちょっと難解な用語の使い方をしていますが、文章全体に何回か出てくるキーワードなので読み取れている人は多かったです。問四、問五は文章を理解してから、その意味を具体的に説明する問題です。問六は用語の解説ではなく、その問題点を示した箇所を抜き出します。問七、八は文章を落ち着いて読めば明らかです。問三以降は全体的によくできていました。

2020年度 3教科B方式 英語

B方式は大問3題が出題されました。2題は論説文で、あと1題は語法・文法問題が出題されています。マークシートで答える問題が多いですが、高得点を取るための勉強の仕方はA方式と変わりません。日ごろから学校の勉強を中心に基礎力をしっかりとつけておきましょう。

I.

【解答】

- 問1. (A) ① (B) ③ (C) ③ (D) ① (E) ② (F) ①
問2. (ア) ① (イ) ① (ウ) ④ (エ) ④
問3. (1) ② (2) ② (3) ① (4) ④ (5) ②
問4. (A) curiosity (B) opportunity (C) communicate (D) patient

【講評】

幼児期に「STEM教育」を行うことの重要性を説いた文章です。問1の語句の意味を答える問題はよくできていましたが、問2の動詞の正しい形を選ぶ問題は(エ)を除いて正答率が低かったです。問3の(5)は④を選んだ人が正解者を大きく上回りましたが、他はよくできていました。問4は本文の要旨をまとめた文章を完成させる問題で、正解は上に示したものの他にもいろいろあり得るので、空所補充の形式ですが作文の実力も試される問題でした。

II.

【解答】

- 問1. (1) ② (2) ④ (3) ③ (4) ① (5) ④
問2. (ア) ④、③※ (イ) ③、⑤※ (ウ) ①、⑥※ (※それぞれ、この順で完答のみ)
問3. (a) ② (b) ③ (c) ④ (d) ③ (e) ③
問4. (a) ① (b) ① (c) ② (d) ② (e) ② (f) ①
問5. しばしば短い言葉のやりとりという形で使われるものなので、我々はそれを表面的なもの、さらには不必要ですらあるものとして片づけてしまいがちである。

【講評】

日本語で「雑談」「世間話」と訳される、天気や「ご機嫌」などについての一見たわいもない会話がもつ社会的意義についての文章です。マーク式の部分は、空所に適語を補充するもの、単語を並べ替えて正しい文にするもの、単語の英語での定義を完成させるもの、短文が本文の内容に一致するかどうかを判断するものでした。正答率が低かった問2の(イ)は、a desire to know more aboutが正解となります。問3の(e)で①を選んだ人がかなりいたのは、neutral - detached - in detachmentの類語関係に惑わされたのかもしれませんが、この意味のdetachmentは不可算名詞でaはつきません。問5の英文和訳の出来はあまりよくありませんでした。employを「雇用」の意味で理解したひとが多かったほか、brief => belief, superficial => specialのように、知らない単語を自分の知っている似て非なる単語にすり替えて理解してしまった例が多々ありました。語彙力が十分でないようです。

III.

【解答】

- A. (1) ③ (2) ④ (3) ① (4) ④ (5) ② (6) ② (7) ③ (8) ③ (9) ③
(10) ① (11) ③ (12) ② (13) ④ (14) ③ (15) ④
B. (1) ① (2) ③ (3) ② (4) ② (5) ②
C. ① ④ ⑤ ⑧ (順不同)

【講評】

文法・語法・イディオムなどに関するマーク式の問題です。日ごろから英語らしい慣用句やちょっとした面白い言い方に気を留めて覚えるようにする一方で、熟語集などを使って効率的に英語の知識を増強しておく必要があるでしょう。

2020年度 3教科B方式 日本史

(I)

【解答例】

- 問1 ア：高句麗 イ：蘇我 ウ：白村江 エ：渤海 オ：刀伊(女真人)
問2 a：③ b：① c：④ d：① e：④ f：① g：② h：① i：② j：② k：④
l：① m：③ n：③ o：①

【講評】

古代の日本と朝鮮半島との関係についての問題です。問1の空欄補充では、オがやや難しかったと思いますが、エの「渤海」も漢字が不正確な解答が目立ちました。マーク式の問2では、cとlの正答率がふるいませんでした。cは②の「交易」という語が気になったのかもしれませんが、lはマルコ・ポーロが日本を「黄金の国」と考えたのと深い関係があります。

(II)

【解答例】

- 問1 (a) ④ (b) ② (c) ④ (d) ④ (e) ③ (f) ② (g) ③ (h) ③
(i) ① (j) ④
問2 (ア)1582 (イ)1401
問3 中央の権力者に所領を寄進した開発領主が荘官として土地を支配した。

【講評】

問1では(b)(d)(e)の正答率が低かったです。(d)については教科書の図なども参考にする必要があるため難しかったようです。問2の(ア)については「織田信長が死亡した年」を「本能寺の変の年」に置き換えることで解答できます。問3に関しては、「開発領主が寄進した結果として荘官の任じられる」という関係性のうち、開発領主と荘官の位置づけを逆に理解している解答が目立ちました。

(III)

【解答例】

- 問1 ア 武家 イ 本阿弥光悦 ウ 村田清風 エ 日米和親 オ 五品江戸廻送
問2 (あ) ⑥ (い) ⑧ (う) ② (え) ④
問3 (a) ① (b) ③ (c) ④ (d) ② (e) ② (f) ③ (g) ④
(h) ② (i) ①

【講評】

IIIは戦国時代から江戸時代の都市に関連した問題です。問2は、4つの都市に関する説明文を読んで、それぞれの都市がどれにあたるのかを地図上から選択するものです。いずれも高い正答率でした。地理的な理解は歴史学習の上でも必要ですので、教科書等に掲載される

地図資料は入念に確認しておくとい良いでしょう。一方、幕末期の貿易に関する問3 (i) は、正答率が低くなりました。いわゆる居留地貿易や輸出超過であった点は、開港直後の外国貿易に関する重要なポイントですので、教科書等で正確な理解を得ておくことが必要です。

(IV)

【解答例】

問1 ア 福沢諭吉 イ 加藤高明 ウ 東条英機

問2 (a) ② (b) ① (c) ② (d) ④ (e) ③ (f) ④ (g) ①

(h) ③ (i) ② (j) ④

【講評】

近代日本の政治外交に関する問題です。問1では、近代日本政治に関わる代表的な人物について問いました。正しく書けるようにしておきましょう。問2では、他の問題に比べ、(g)と(h)の正答率が低かったです。台湾・澎湖諸島の割譲は、1895年に日清戦争の講和条約で決められたことです。重要な条約などで、どのような取り決めがなされたかについて、整理しておくとい良いでしょう。人物については、その人がどういう職歴を経て、どのような時代状況で、どのような役割を果たしたのかを理解しておきましょう。大切なのは、それらの知識を組み合わせるようになることです。

2020 年度 3 教科 B 方式 世界史

(I)

【解答例】

問1 (ア) ⑦ (イ) ① (ウ) ⑥ (エ) ④ (オ) ⑤ (カ) ③ (キ) ②

問2 ② 問3 ③ 問4 ② 問5 ① 問6 ③

問7 オスマン(朝) など 問8 ① 問9 ①

【講評】

(I) は、中央アジアにおけるイスラーム化の進展に関する基本的な知識を問うものでした。多くの問題で半数以上の正答率となっており、とくに問1(エ)(キ)、問2、問3、問4、問6はいずれも8割以上の方が正解を選んでいました。他方で、10世紀に現れたイスラーム王朝を選ぶ問5は①のガズナ朝が正解ですが、12世紀に登場したアイユーブ朝とする解答が目立ちました。また、王の称号として「スルタン」を使った王朝を答える問7については、マムルーク朝やオスマン朝をはじめ多数の正解例がありますが、「カリフ」と称したファーティマ朝を挙げたものが多くありました。ふだんから、歴史地図や年表を参照して各地域の歴史を通史的に見るようにするといいでしょう。

(II)

【解答例】

問1 (1) ③ (2) ④

問2 (1) ③ (2) ①、④(順不同) (3) ④

問3 (1) ② (2) ②

問4 法典の名称：ローマ法大全 編纂を命じた人物：ユスティニアヌス

問5 あ：(第4回) 十字軍 い：コンスタンティノープル 問6 ④

【講評】

ヨーロッパのいくつかの都市についての出題です。高い正答率を示した問もありましたが、いくつかの選択問題への正答率で差がついたようです。問1(1)は、科学者たちの国籍を考えれば正解に近づきます。問2(3)には、カルヴァンの開いた教会への正確な理解が必要です。問3(1)は確かに間違いやすいですが、(2)はユネスコが戦後の創立であることを思い出せば簡単に解けます。

(III)

【解答例】

A 問1 ④ 問2 ② 問3 ③ 問4 正統主義 問5 ②

問6 パクス=ブリタニカ

B 問7 ③ 問8 ④ 問9 ② 問10 ① 問11 ①

問 12 ユーゴスラヴィア (ユーゴスラビアも可)

【講評】

Aはナポレオン戦争、Bは第二次世界大戦の戦後処理に関する問題です。Aでは問2と問3の正答率がそれぞれ55%と62%とやや低めでしたが、他の問題は7～8割と高く、基本的な知識がしっかり身につけていると感じました。現代史にあたるBの部分でも、東欧の政治体制に関する問9をのぞけば、全体によくできていました。ただ、1948年以降独自の道を歩んだ国をたずねた問12の正答率は低く、さまざまな国名が挙げられていました。

(IV)

【解答例】

問1 陳独秀 問2 ⑤ 問3 西安 問4 周恩来 問5 ④
問6 ④ 問7 ① 問8 ① 問9 ④ 問10 ② 問11 ①
問12 ② 問13 ② 問14 ①

【講評】

(IV)は中国共産党の歴史に関連する問題です。記述式回答の問1、問3、問4は全体的によくできていましたが、漢字の誤りが散見されました。日ごろから漢字を正確に書くよう、心がけましょう。問7は他の問題と比較すると正答率が低く、②の五・四運動を選んだ人が3割程度いました。

【解答例】

問1 (c)

問2

(1) ③

(2) 経済学は、それを実行する人に利益があるかどうかだけを問題にし、社会全体の利益につながるかどうかは考えないこと。

問3

(1) energy climate change fair trade migration
development terrorism

(2) ① 森林 ② 貿易 ③ 禁止

(3) (b)

(4) ① 適切な ② 評価 ③ 促進する

問4 (下の講評を参照)

【講評】

今回の総合小論文方式のテーマは「豊かさの指標としてのGDP」でした。GDPが示す経済的な豊かさは、人間にとってある種の幸福につながることは事実ですが、地球全体や社会全体を長期にわたって幸福にできるかという点必ずしもそうではありません。受験生には、問1から問3を通じてGDPという指標がもたらすメリット・デメリットを段階的に理解し、問4でその両面を考えることが求められました。

問1は、所得の伸びが平均寿命の伸びと比例することを資料1から読み取ることができるかを問いました。経済的な豊かさが、健康や長寿といった人間の幸福につながることを確認する問いです。ほとんどの方が正解でした。

問2(1)は、経済成長や経済的利益の増進に反する行為は、経済学によって「不経済」と判定されてしまうことを理解できたかを問いました。多くの方が正解でした。問2(2)は、経済学が「それを実行する人に利益があるかどうか」というたった一つの側面しか問題にせず、社会全体の利益になるかは検討しないことを、資料2から読み取れたかを問いました。「何を指しているか」と聞かれているのに、資料文から離れて作文のような解答を書く答案が目立ちました。

問3(1)は、資料3において、GDPを指標として用いることが適切かどうかを考えるべき「issues 問題」が6つあることを読み取ることが求められました。「issue」の意味を取り間違えたためか、6つすべてを正解できない方が目立ちました。問3(2)は、「The policy」の直前の英文の日本語訳を問いました。この日本語訳を踏まえて英文を読み進めると、木材の貿易を禁止して短期的にGDPを減少させるような結果となる場合は、森林保全といった長期的幸福を促進する政策決定をすることは難しいということが確認できます。問3(3)は、「GDP」という指標だけではかると、長期的な幸福を増加させる政策決定の評価はどうなってしまうか、という問題意識を理解できているかを問いました。問3(4)では、資料文中の

英単語の日本語訳が求められましたが、①～③すべて正解の方と、そうでない方で差がついたところでは。

問4は、問1から問3を通じて考え、解答してきたことの総まとめです。問1の資料ではGDPを用いるメリットの実例が、問2の資料では経済的指標が持つ一面性を示すことでGDPという指標が持つ理論的な限界が、問3の資料ではGDPのメリットとデメリットを踏まえた上で代替となるアプローチの存在が示されており、この問4ではGDPを用いることのメリットとデメリットの両面を、これらの資料を踏まえた上で、客観的な論拠を挙げながら論じることが求められました。

しかし、いずれか1つの資料のみを用いて論述を行う答案や、メリットあるいはデメリットのいずれか一方の側面のみ取り上げて論述をする答案が目立ち、内容的に問4の求める論述ができた答案はあまりみられません。また、論述に十分な時間を割くことができず、600字以上という文字数の制限をクリアできない答案が見られました。なお、本問はメリットとデメリットの両方を書く必要がある論述だったので、適切に話題を転換する技術（「しかし」や「一方」といった、接続詞をうまく用いるなど）が求められましたが、これをうまくできずに得点を落とすパターンも見られました。3つの資料を踏まえた上で論述内容について考える時間を残すことができていたかどうか、そして話題の転換のテクニックを発揮できたかがポイントだったと思われます。